

学校評価のねらい

「西院の子どもは西院地域で育てる」ことをキーワードとし、地域と学校が一体となって、地域ぐるみの教育・よりよい学びと育ちに向けた取組を進めていくことができる。昨今、不登校児童の増加が後を絶たない。そこで、新1年生含む低学年の児童を対象に、架け橋プログラムを意識した取組を計画実行することはもちろんのこと、保幼小・小中の連携をさらに強め、緩やかな接続が行えるように努める。それらをもとにして、学校評価を実施し、その結果から課題を共有、地域・家庭・学校が共に協力し、高め合う西院の町の実現を目指す。

		評価の検討と実施	学校運営協議会	公表の時期と方法
中間評価	4	・教育指導計画の作成 ・参観、スポーツフェスティバルなど学校の取組を地域へ公開する方法・日程などを決定		・学校だより（教育方針の発信） ・前年度の評価結果をHPに再掲
	5	・評価項目の検討		
	6	・学校評価の評価計画・ねらいなどの広報の内容検討 ・1回目の評価シート	・第1回開催 学校運営協議会に学校教育方針の説明	・学校評価の広報（学校だより・HP）
	7	○評価実施1回目 ・自己評価の実施（対象…児童・保護者・教職員に評価シート配布）・回収・集計		
	8	・評価結果の分析 ・今後の方針の検討		
	9	・職員会議において課題や改善策の検討 ・改善プランを作成 ・公表の準備（学校だより・HP）		
	10	・学校運営協議会理事会を受けて、改善プランの再検討	・第2回開催 学校運営協議会理事会で今後の取組を紹介し成果と課題を確認	・学校だより、HPで評価結果をもとにした成果・課題の分析・改善プランを公表
	11	・評価項目を再検討 ・2回目評価シート作成		
	12	○評価実施2回目 ・自己評価の実施（対象…児童・保護者・教職員に評価シート配布）・回収・集計		
年間評価	1	・集計結果をもとに成果・課題を分析 ・職員会議において課題や改善策の検討		
	2	・改善プランの作成 ・公表の準備（学校だより・HP） ・学校運営協議会の評価を受けて、改善プランの再検討	・第3回開催 学校運営協議会理事会で結果・改善策を確認	・学校だより、HPで結果・改善策を公表
	3	・次年度の方針の共通理解		